

第306回
株式会社テレビ新潟放送網
放送番組審議会

- 1 開催日時 平成26年3月24日（月）午前11時00分～
2 開催場所 テレビ新潟 会議室
3 委員総数 8人 出席委員8人

出席委員

豊口 協	委員長	大矢 純一	副委員長
佐野 晃之	委員	藤井 敬久	委員
碓井 真史	委員	大久保千春	委員
田村 明子	委員	尾畑 留美子	委員

会社側出席者

代表取締役社長	室川 治久
常務取締役（編成・報道・制作・国際担当）	水島 敏夫
編成局長 兼 放送番組審議会事務局長	竹石 尚史
報道制作局長	稲田 裕之
制作部長	小木 裕介
番組プロデューサー	竹野 和治
事務局	紫竹 聡子 水野 明子

4 議 題

1) 番組合評

「世界で夢をつかめ ～追跡！新潟人の挑戦～」

〔放送：平成 26 年 3 月 23 日（日） 16：30～17：25 放送〕

（説明：番組プロデューサー 竹野 和治）

2) 会社報告

- ・ 2月の視聴者の意見 (報告：番組審議会事務局)
- ・ 定例の報告等 (報告：番組審議会事務局)

3) その他

5 審議の概要（委員の意見）

会社側より、この番組は、卒業や入学、就職と若い世代にとって新しい挑戦が始まる時期に、新潟から世界へ飛び出し、夢に向かって挑戦している人たちの姿を伝えることで、若い世代に、生き方のヒントを得てほしいと考え、制作したことが説明された。番組に登場する 3 人の新潟県出身者は、これまでさまざまな人生の分岐点で困難を乗り越え、現在に至っている。努力を続ければ、その先に必ず光が見えてくるというメッセージを視聴者に感じ取ってもらいたいと放送したことも伝えられた。

- 冒頭、パリや、ニューヨークといった憧れの都市から新潟人が出てくるというシーンは、ワクワク感があった。
- 三味線奏者の挑戦の過程で、場面展開がやや急なシーンがあり、大阪からなぜパリへ移動したのか、イベント出演依頼はどのようなところからオファーがくるのかなど気になった。
- 三味線奏者はパリで、どのように生計を立てているのか、フランス語はどの程度話しているかなどがわからず、生活感があまり感じられなかった。
- ナレーションがとても落ち着いた印象で聞きやすかった。
- 登場した3人の年代が幅広く、それぞれの時代によってチャレンジ方法も違うのでバランスがよかった。
- 旅立ちの季節にふさわしい内容。番組構成が巧みで、膨大な取材内容を丁寧に伝えていた。
- 登場人物3人は、初めて知る人達でなぜこの人たちなのだろうと思ったが、わかりやすく丁寧に描かれていたので興味深く見ることができ共感できた。
- 助産師の仕事を紹介するシーンで、出産に立ち会う場面もきちんと取材できていて、仕事ぶりがよくわかる映像だった。
- 世界に飛び出した彼らの「新潟県」とのつながりや、故郷への思いやメッセージをもっと聞いてほしかった。
- 地元新潟への思いが、取材した3人からあまり聞こえてこなかった。また彼らと関わった人達が、どうエールを送っているのかも描いてほしかった。
- パリに根付いて活動している三味線奏者を描くなら、撮影するときに、彼にパリを案内してもらおうような映像、カメラワークがあってもよかった。

- 助産師のホストファミリーと会話しているシーンから、助産師としての彼女が成長しがんばっている様子がよく伝わってきた。
- 助産師の女性が、なぜドイツで助産師になったのか、わかりづらく物足りなかった。
- 若者に見てもらおうなら、もう少し軽いタッチの番組でもよかった。
- インテリアデザイナーの彼が和紙と出会う前の様子や、ガラスの中に和紙がデザインされているインテリア製品が日本にあるのかどうかなども知りたかった。
- 夢に向かって進んでいくプロセスは三人三様で、夢は叶う、困難は乗り越えられるということをそれぞれの世代が示してくれたが、若い人へのメッセージとして彼らの明確な言葉がほしかった。
- この番組の軸は「イノベーション」と感じた。それぞれの可能性を一度壊して、新たな世界に挑戦していく。自分の人生は、自分で考え、自分で道を見つけることが大切だというのが、わかりやすく伝わってきた。

6 会社側の報告

1) 放送番組に関して申し出のあった意見の概要

2月……107件

2) 訂正放送、取り消し放送の実施状況

前回審議会(平成26年2月24日)から 昨日(平成26

年3月23日)まで、総務省に届け出た訂正放送、取り消し放送はありませんでした。

7 審議機関の答申または意見（前回審議会）に対してとった措置

- 1) 前回、第305回審議会では、「新潟の星 白銀の夢舞台へ」を審議いただきました。委員の意見は議事概要にて記者制作スタッフ、社内に周知しました。
- 2) 番組審議会議事録を全社員・スタッフに回覧しました。

8 今回の第306回放送番組審議会の公表

- 1) テレビ新潟本社、長岡支社、上越支社の県内事業所に議事概要の書面を準備しています。
- 2) 当社のニュースで審議会の概要を放送します。
- 3) インターネットのTeNYホームページに議事概要を掲載します。

9 参考事項（委員への配布資料）

- ・ 2月の視聴者からの意見、問合せ等の集計表
- ・ 2月の単発番組制作一覧
- ・ 民間放送新聞（2/23、3/3、3/13）
- ・ BPO報告 No. 132

以上